

2023 年度

図書館利用者アンケート Q&A

図書館アンケートに寄せられたご要望・ご意見に対し、図書館からの回答を作成しました。

今後のご要望・ご意見を参考にしながら図書館サービスの改善に努めてまいりますので、

図書館運営にご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

[図書館サービスについて](#)……………p.2-4

[図書館の施設・設備について](#)……………p.5-7

[図書館における利用マナーについて](#)… p.8

[図書館資料について](#)…………… p.9-10

図書館サービスについて	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
貸出・返却手続きといった簡単な図書館利用の方法や、ラーニング・コモンズの細かいルールがわからず困っています。	図書館ホームページに 図書館の利用方法等の動画 が掲載されています。 また、ホームページ内にて公開している「 利用の手引き 」>「 ラーニングコモンズ利用案内.pdf 」でも案内していますし、館内に「図書館利用案内」、「図書館利用の手引きシリーズ」が置かれていますので、ご自由にお持ちください。
図書館ホームページ上で、中央図書館の配架一覧は公開されていますか？	図書館ホームページに フロア別所蔵資料案内 が掲載されており、中央図書館の各フロアに所蔵されている資料の種類・分野をご確認いただけます。 また、ホームページ内にて公開している「 利用の手引き 」>「 資料の種類と配架.pdf 」の P.2「資料の配架一覧表」でも同様の案内がご覧いただけます。
資料の配架場所を探すことが難しいため、図書配架順の説明資料が欲しいです。	図書の請求記号の見方、配架先の探し方については、『情報検索スタートブック』や図書館ホームページの 利用の手引き にある「 資料の種類と配架.pdf 」でご案内しています。レファレンスカウンターでもご案内しておりますので、見つからない場合はぜひご相談ください。
図書館ホームページを利用して目的の情報になかなか辿りつけません。今後改善の予定などがありますか？	2024 年 4 月 1 日～6 月 30 日まで期間を限定し、図書館ホームページに関するみなさまからのご意見を募集いたしました。これらの利用者の皆さまからの貴重なフィードバックを基に、図書館ホームページの改善策を検討しております。利用者の皆さまのニーズに応えられるよう努めてまいりますので、ご利用の際にお気づきの点などございましたら、 こちら よりご意見をお寄せください。
図書館の紹介動画の英語版はありますか？	図書館の紹介動画は、日本語と同様に英語版も図書館ホームページ内の こちら よりご覧いただけます。（言語を英語に切り替えてご利用ください）
土日を含み開館時間を延長して欲しいです。	開館時間の延長は、運営に係る人件費、光熱費、セキュリティ確保などによるコスト増と、図書館外からも利用可能な電子資料の充実を図っていることなどから総合的に判断し、現時点での開館時間の延長については見送りとさせていただきます。今後ご要望を踏まえつつ、より良い図書館環境の提供を検討していきます。
他の利用者に貸出されている資料を予約したのに、返却期限を過ぎても資料が返却されず困っています。	図書館としても貸出期日を超過している利用者に対し、資料の貸出停止のペナルティーを科し、毎月返却を促す措置（督促メール・ハガキの送付、電話での督促）を講じています。返却の遅れは解消したい大きな課題の一つであり、可能な限り次の方が早くご利用いただけるよう努めております。 お急ぎの場合は、個別に対応いたしますので貸出カウンターまでお申し出ください。

図書館サービスについて	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
学部生の貸出冊数の上限を増やして欲しい。	学部生の貸出上限は 10 冊 14 日となっています。図書館の資料は大学構成員すべての方のための資料です。貸出冊数の上限増加は、他利用者の利用を待たせることになるため、利用を終えた図書から順次返却し、その返却冊数分について新たに貸出手続きをとっていただきたいと考えています。なお、2023 年度より返却後に次の予約がない場合は、再貸出を可能にしたため、予約が入っていなければ何度でも繰り返し借りることができるようになりました。また、MyOPAC からは、オンライン上で貸出期間の延長が一度だけ可能です。
在籍期間が満了する卒業・修了式前に返却期限が設定されていたり、MyOPAC が使えなくなったりして困ったので、在籍期間中は図書館サービスが使えるようにして欲しいです。	卒業および修了予定者の貸出や返却期限、MyOPAC 等の利用といった図書館サービスは、在籍期間より短く設定しています（延滞者への督促など事務作業のため）。施設利用や MyOPAC 利用についてご要望がありましたら、個別に対応いたしますので こちら までメールでお申し出ください。
DVD や Blu-ray などの映像資料の館外貸し出しを可能にして欲しいです。	当館における DVD や Blu-ray などの映像資料については、残念ながら著作権法上の制限により館外への貸出を行うことができません。ご理解のほど、よろしくお願いします。
2 号館集密書庫にある資料が土日は閲覧できるようにして欲しい。また、院生や教員が中央図書館の集密書庫に入れないのは不便なので、入れるようにルールを変更して欲しい。	土日の利用者数と運営に係る人件費等の関係から土日の集密書庫の出納は行っていません。また、安全面とセキュリティを確保した運用が困難であるため、図書館スタッフ以外の集密書庫への入室は認めていません。なお、利用頻度の高い資料は、一時的に開架書架に移動するなどの措置を講じますので、貸出カウンターまでご相談ください。
貸出カウンターやレファレンスカウンターの対応姿勢や提供サービスの内容が担当者によって異なるのを改善して欲しい。	担当者によって極力対応に相違が生じないようにマニュアルの再確認とカウンター教育を今まで以上に実施します。 その一方で、利用者の皆さまには、より適切なサービスを提供するために様々な事項をお尋ねしたり、調査に時間を要する場合もありますのでご協力をお願いします。
図書館の利用が促進されるように授業との連携や検索指導などを実施する必要があると思います。	図書館では、一年を通して、イベントや講習会の相談を受け付けています。また、教員は申請・マニュアル DB から授業時間内（科目レベル 300-400 番台を対象とした授業）の一部を利用した データベーススキルアップ講座のお申し込み が可能です。（学内関係者のみ閲覧可） なお、イベントや講習会の情報は図書館ホームページや Loyola 掲示板などに掲載いたしますので、参加される場合は My OPAC>利用者サービス>講習会・イベント申込みよりお申込みください。

図書館サービスについて	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
資料を差替えるためのページをめくる作業の音が気になるので、少し静かにするなどの配慮をお願いしたい。	主に法令等の資料差替え図書（加除式資料）は、定期的にページの入替作業を行う必要があります。作業に際しては、なるべく利用者の少ない場所を選び、かつ「差替作業中」の掲示をしたうえで、短時間に行うよう気を付けています。ただし作業の性質上、全く音を立てないことが困難なため、見かけた場合は、離れた席をご利用いただくなど、ご協力をお願いします。
学術情報リポジトリに掲載してある論文を検索サイト（Google 等）からも検索できるようにして欲しい。	配信サーバー負荷による予期せぬシステムダウンを避けるため、本学リポジトリは検索サイトからヒットしないよう設定しています。 なお、大学が発行している紀要等に掲載された論文を検索する場合、本学を含め国内 700 以上の大学・研究機関のリポジトリコンテンツが検索できる IRDB を国立情報学研究所が運用していますので、そちらもご利用ください。
理工学系だけでなく可能であれば人文社会科学系にもオープンアクセス支援の対象を拡大して欲しいです。	2024 年 1 月から Wiley 社と CUP 社を加えた 4 出版社と Read&Publish モデルの契約を締結しています。理工系や人文・社会科学系の学部・研究科の研究者にもオープンアクセス出版に係る論文投稿費用の免除対象となる研究分野が拡大されています。 詳細は こちら よりご覧ください。（学内関係者のみ閲覧可）

図書館の施設・設備について	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
閲覧席の照明が点灯しない、または点滅しているので修理して欲しい。	図書館では年２回（夏期・冬期休暇）全閲覧席の照明（蛍光灯）の点検を実施していますが、閲覧席のプラグがコンセントに差し込んであっても点灯しない、もしくは適切に点灯しない場合等は、お手数でも貸出カウンターにお知らせください。 なお、閲覧席の照明用プラグをコンセントから抜き取ったまま放置している状況が非常に数多く見受けられます。プラグの抜き取りは機器の故障に繋がり、抜き取ったままの放置は他利用者の迷惑行為となります。プラグの抜き取りは絶対に行わないでください。PC 等への充電はラーニングコモンズ（地下１階）や２階から５階の照明付閲覧席机上の電源コンセントをご利用ください。
ノート PC などを使用するために、コンセント付き閲覧席を増やして欲しい。特に利用者の多い低層階に必要です。	現在、ラーニング・コモンズ（地下１階）および２階から５階のほぼ全ての閲覧席（照明設備のないテーブルと丸テーブルは除く）には、電源コンセントが備わっています。なお、将来に向けて、コンセント付き閲覧席の増設やフロア内でのコンセント有無のゾーニング、さらには携帯型充電器の貸出しなどについて検討します。
グループ学習室の Wi-Fi 環境が悪いので、改善して欲しいです。	グループ学習室の Wi-Fi 環境について、設備の増強を検討します。
ラーニング・コモンズ等のように会話ができるスペースの増設や WEB 面接等が受けられる個人利用スペースを設置して欲しい。	ご要望の施設についてはキャンパス内の何処かに必要であると認識しています。図書館内に設置する場合は、図書館機能・設備の部分的な変更を検討する必要があるため、関係部署と慎重に協議したいと考えています。
地下フロアの換気を行って欲しい。	現在、図書館地下２階南東の館外には、指定喫煙エリアが設けられています。 健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例に規定する基準を満たしたスペースではあるものの、タバコの煙のニオイが気になるという利用者の声も寄せられているため、周囲の窓は開放しないようにしてください。 既にラーニング・コモンズに除菌空気清浄機を設置していますが、引き続き、換気機能の強化に努めるとともに、キャンパスの全面禁煙化に向けて取り組んでまいります。

図書館の施設・設備について	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
特に3階以上の閲覧席の汚れやカーテンの汚損が気になります。	館内施設・設備の特性や利用度合いに応じ、概ね以下のように清掃を実施しています。 ①全閲覧席の机上（拭きあげ）：毎日 ②4階以上の床（掃除機による吸塵）：書庫は月1回、閲覧席エリアは週1回 ③3階以下の床（掃除機による吸塵）：書庫・書架・閲覧席エリアは週1回、3階閲覧席エリア、2階PCルーム、1階、地下1階ラーニング・コモンズ、学生ラウンジは毎日 ④カーテン：数フロア毎に毎年計画的にクリーニング 今後も関係部署と連携し、より清潔にご利用いただくための環境整備に努めます。併せて、利用者におかれましても、ゴミの持ち帰り等のご協力をお願いします。
1階エレベーターから降りた先に、出口方向への案内を表示して欲しい。	1階南北エレベーターの正面に、出口表示が分かるサインを掲示します。
書庫内の検索用OPACの場所をサイン等で示して欲しい。	エレベーター前および書庫各入口のレイアウト図にOPAC設置場所を表示します。
地下1階にある電話室では電波が届きづらいため、スマートフォン・携帯電話を使うことができず不便に感じています。	館内では、地下1階の電話室と学生ラウンジに限り、他利用者の迷惑（大声や長時間の会話など）にならない範囲でスマートフォン・携帯電話等での通話を許可しています。なお、一部の通信事業者の電波は電話室や学生ラウンジに届きづらい状態となっておりますので、電波が届かない場合は館外でのご使用をお願いします。
冬になると地下1階と3階雑誌書庫の室温差が大きいので、改善して欲しいです。	館内の空調管理は、フロアで一体管理されており、部分部分での温度調整はできません。夏季と冬季で館内室温を設定していますが、体感温度は個人でも異なりますので、できる限り着衣で調整くださいますようお願いいたします。なお、室温が合わない場合は、図書館スタッフにお申し出ください。
9階の立入禁止エリアにも閲覧席を設けて欲しいです。	9階の立入禁止エリアは、イベント開催時の利用を想定しており、残念ながら閲覧席の設置を前提にはしていません。同フロアの書庫内に閲覧席を設けていますので、そちらをご利用ください。

図書館の施設・設備について	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
館内でよく「盗難注意」の掲示を見かけます。盗難防止策として各階にロッカーを配置したり、警備員の巡回を強化して欲しいです。	警備スタッフの館内巡回を従来よりも頻度を増やすよう要請するとともに、館内の防犯カメラについても増設を検討します。 利用者の皆さまは、移動の際は必ず所持品を携行するなど、ご自身で貴重品・身の回りの物の管理徹底をお願いいたします。荷物が多い時など、地下１階にある４８個の貸しロッカーもご利用いただけますので、ご希望の際は貸出カウンターにお申し出ください。なお、スペースの関係上、各階にロッカーを設置するのは現状困難であることをご理解ください。

図書館における利用マナーについて	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
館内での飲食は許可されているのでしょうか？	館内では、飲料でも蓋がしっかり閉まり、倒れても漏れない容器（水筒やペットボトルなど）に入っていれば、持ち込んで閲覧席等で飲むことを許可しています。他方、食料は、食べこぼしが資料汚損や害虫誘引の恐れがあるので、一切許可していません。なお、万が一、資料、机、壁、床等を汚損した場合は、必ず貸出カウンターに申し出てください。 ○許可：蓋がしっかり閉まり倒れても水分が漏れない容器（水筒やペットボトルなど）に入った飲料 ※不許可：食べ物（飴やガム含む）、水分が漏れる紙パックや蓋付きカップの飲料
ラーニング・コモンズ以外での私語や閲覧席でのPCキーボードのタッチ音がとても気になり、学習に集中できません。	館内のマナー遵守に向け、以下の案内および館内巡回を強化します。 ①会話を許可しているのはラーニング・コモンズ、グループ学習室、学生ラウンジだけです。それ以外の場所での私語はご遠慮ください。 ②キーボード・タッチ音は騒音となりえますので周囲に配慮してください。 なお、サイレントスペース（PC禁止スペース）などのエリア設置についても今後検討する予定です。
閲覧席やラーニング・コモンズなどで勉強をしていると、警備員による館内巡回の様子が気になってしまいます。	閲覧席に貴重品等を置いたまま離席される方が多く見受けられ、盗難などの被害が発生するリスクが高まっています。 利用者の皆さんに図書館を安心・快適にご利用いただくため、館内警備・巡回を実施しております。ご利用に際し、支障とならないよう十分留意したうえで実施いたしますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。
グループ学習室の利用について、予約時間を過ぎても退出しない人がいて、利用できずに困ることがあります。	予約時間に他の利用者が入室してお困りの場合は、貸出カウンターにお申し出ください。
期末試験前や期間中に、よく閲覧席に荷物を置いて席を確保する利用者が多く困っています。	試験期間中は閲覧席の利用が増える時期であるため、職員も館内巡回を行い、席取り（荷物の放置）を含め、館内利用マナーを遵守いただくよう注意喚起をしています。利用者におかれましても、席を離れる際は荷物を持ち、貴重品の管理に十分注意を払うようにしてください。また、共有スペースとしてすべての利用者が快適に利用できるように私語を慎むなどのご協力をお願いします。閲覧席をご利用の際にお困りのことがございましたら、図書館スタッフまでお申し出ください。

図書館資料について	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
研究書や学術教養書のみならず、現代小説、一般書、参考書なども収蔵して欲しい。	大学として学習・研究対象となる小説（小説家）を含む文学作品については収集対象としています。 ただし、書架（配架スペース）及び図書購入予算には限りがあることから、ご要望にある小説や一般書等を収集することは、現実的に困難です。そのため、学生希望図書リクエストによっては、近隣の公共図書館のご利用を案内することがあります。
専門書が都内他大と比べて少ないので、もっと購入を増やして欲しい。	専門書については、テーマや内容にもよりますが、基本的に学術研究書は優先して受入しています。
古すぎる資料が多い印象があります。	古い資料について、すでに新版が刊行されているなど、内容が刷新されたと思われるタイトルについては、利用状況等を検討の上、除籍を行い、新版を購入しています。 また古典的に価値の高い資料も多くあり、古いから一律価値がないというわけではありません。 もし利用に耐えない資料がありましたら、貸出カウンターにご相談ください。
新刊図書をもっと購入して欲しいです。	国内の新刊書については、学術研究書や教養書を中心に、出版情報も確認のうえ漏れの無いよう選書を実施しています。洋書の新刊書については、電子書籍（Ebook）を中心に学術研究書を優先して受入しています。 特定の主題の図書を含め、新刊書で所蔵の無い図書についてご希望がある場合は、レファレンスカウンターにご相談いただくか、学生希望図書リクエスト制度をご利用ください。
「判例百選」の種類を増やして欲しいです（紙・電子ともに）。	判例百選はすでに雑誌扱いの「別冊ジュリスト」（→ OPAC 所蔵ページ ）として所蔵しております。 また、判例については、データベースへの移行も進んでおります。図書館 OPAC のメニュー＞データベースを探す＞ 【目的別】法令・判例を調べる から、探すことができます。 利用方法については、レファレンスカウンターにご相談ください。

図書館の資料について	
ご要望・ご意見	図書館からの回答
AV 資料を拡充して欲しいです。	AV 資料については、コロナ禍の AV ブース利用制限などにより、ここ数年購入実績が少なかったのですが、今年度よりドキュメンタリー資料を中心に購入しています。なお映画の著作物については、著作権で図書館向けの許諾がない作品も多く、積極的に受入することは難しい状況となっています。
視覚情報を認識するのが苦手なため、オーディオ Book 等の音声資料を充実して欲しいです。	オーディオ Book 等の音声読上げ資料について、まだ大学図書館向けに購入可能なタイトルが多くないのが現状です。今後刊行が増えたら、導入を検討します。 MaruzenEbookLibrary では電子書籍（Ebook）で、読上げ機能が搭載されたタイトルもありますので、ぜひご利用ください。
冊子体の雑誌「法学教室」を購読して欲しいです。	当該タイトルについては、すでに所蔵し購読継続しています。 こちら から OPAC をご確認ください。 また、雑誌については館内での利用のみ可能で、貸出対象ではないため、現在取置サービスは実施しておりません。必要な部分をコピーして利用後は速やかに返却台へお戻しください。
図書館内にある冊子体雑誌の電子版を増やしてほしいです。また、電子ジャーナルの種類の充実も希望します。	学術雑誌において冊子体と電子ジャーナルの両方で刊行されているタイトルは、電子ジャーナルを優先的に購読するよう努めています。また、既に冊子体で所蔵している雑誌につきましても、OA 化したタイトルを中心に電子ジャーナルへの移行作業を随時進めています。 しかしながら、大手海外出版社の購読料は年々上昇傾向にあり、また昨今の外国為替における円安傾向が購読料高騰に拍車をかけ、図書館予算の大きな負担となっています。 これらの状況を踏まえ、大学としては学部・学科等からのニーズと限りある予算の執行バランスをとりながら慎重にタイトルを選定し、これからも教育・研究活動の支援に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。